平成30年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果から 帯広市立光南小学校

<ねらい>

○ 児童一人一人の体力や運動習慣等を把握するとともに、その状況を児童はもとより、 家庭にも伝えながら計画的・継続的な指導を行っていく。

<今後の取組について>

- 子どもにとって心身の健やかな成長を大切にしていきたい。
- 体力の向上の取組を学校全体でより一層効果的に展開していきたい。
- 本校の分析は下記のとおりです。
 - 本校児童の優れているカ、課題となるカ
 - 今後の取り組んでいきたいことについて
- → 学校便りでもお知らせし、保護者・地域と協力して取り組んでいきたいと 考えています。

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果から

- ●5年生を対象に実施した「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の集計結果が出され、全国や北海道の状況が公表されました。
- ●本校の男子は8種目のうち"握力・長座体前屈・立ち幅とび"の3種目で全国平均を上回りました。その他の種目や8種目の体力合計

<種目>

- ①握力 ②上体起こし
- ③長座体前屈④反復横とび
- ⑤20mシャトルラン
- ⑥50m走 ⑦立ち幅とび
- ⑧ソフトボール投げ

点では全国平均を下回ったものの、<u>筋力・柔軟性・跳躍力に優れている</u>ことがわかりました。

- ●女子は8種目のうち "握力・上体起こし・長座体前屈・立ち幅とび・ソフトボール投げ"の5種目で全国平均を上回りました。その他の種目や8種目の体力合計点では全国平均を下回ったものの、 筋力・柔軟性・跳躍力が高いことがわかりました。
- ●また、男女とも、反復横とび・20mシャトルラン・50m走が全国平均を下回り、全身持久力や走力(疾走能力)に課題があることもわかりました。
 - ●今後具体的に取り組んでいきたいことは・・・。
 - ①目標や振り返りを意識し、子どもたちが楽しさや達成感を味わうことができる"汗をかく体育" に加え教育活動全体を通した継続した体力・運動能力向上の取組
 - ②体力テスト個人票の活用:自らの体力の傾向をつかみ課題を解決していくためのめあてづくり
 - ③ "サーキットトレーニング" "体力づくり月間"の取組
 - ④家庭や地域との連携:清柳スポーツとの連携
- ●体力・運動能力のさらなる向上に努めるよう全校で取り組んでいきたいと思います。